大仙市立西仙北中学校

羽ばたこう　立志の丘から

平成２８年度　学校通信

平成２８年１０月３１日
No.２６

にしせん駅伝・マラソン大会＆なべっこ

21日は、気温が低かったものの天気に恵まれ、「開校５周年記念　にしせん駅伝・マラソン大会」及び「なべっこ」を全校で行いました。

これは、毎日実施している５分間走の成果を発揮し、年度初めからの体力の向上を実感すること、選手選考や駅伝・マラソン大会を通して、さらに学級の絆を深めること、また、ふるさとの伝統行事であるなべっこを秋の自然の中で楽しむこと、仲間と協力し合って調理・食事・後片付けなどを進めることなどをねらいに実施しました。

学級対抗の駅伝大会は、校地内のコースの10区間で行い、２年Ｂ組がダントツの１位でしたが、どのクラスも級友の声援を受け襷をつなぎました。チーム３位まで、及び各区間賞の選手には、入賞賞状とメダルが授与されました。また、駅伝の選手以外の全員が、駅伝コースでマラソンに挑戦し、参加者全員が見事に完走しました。マラソンの入賞者にもメダルと賞状が授与され、満面の笑みが見られました。駅伝・マラソンでは、つらいこと、苦しいことにも前向きに取り組む生徒の姿が見られました。友達を一生懸命応援する姿とともに、この姿こそ、西仙北中の伝統の一つになってきているように思います。

駅伝・マラソン大会での達成感をもちながら、次は、各学年のグループごとに、体育館周辺でなべっこを行いました。「鍋物を一つは作る」というルールの下、各グループが工夫を凝らして、また、ねらいどおり協力して、なべっこを楽しんでいました。

行く秋を惜しむ、充実した一日となりました。

『世界一の向日葵』　春まで冬眠

パネル一枚一枚が重なって、大きな明るい７つの向日葵を形づくり、地域に元気を送るように、生徒一人一人の個性溢れる存在感が一体となって輝く西仙北中学校を創造していく、という想いの込められた「世界一の向日葵」が、春までお休みになります。

生徒が学習面でも運動面でも力を蓄え、大きく成長する冬季間、「世界一の向日葵」も来春、また光り輝くためにお休みします。21日に全校生徒で、パネルを格納しました。

足立区の先生方が研修されました

10月24日から28日までの１週間、東京都足立区の先生方７名が、本校で研修されました。

これは、大仙市教育委員会で、一昨年から

継続して、足立区教育委員会の要請を受け入れて行っている教員研修です。

本校には足立区の中学校の国語科の先生３名、理科の先生１名、英語科の先生１名、音楽科の先生１名、そして指導主事の先生１名が、各学級や教科の授業で一緒に勉強してくれました。

お別れの会では、生徒の素直さ、互いに認め会える人間関係のよさ、そして当たり前のことが当たり前にできる生徒の姿を褒めていただきました。生徒は、足立区の先生方に遠慮しながらもした質問等により、東京の生活を垣間見ることもできたようです。人と人とのふれあい、コミュニケーションこそが、生きた学習です。貴重な機会をいただき、生徒も職員も有意義な一週間でした。足立区の先生方、ご来校、本当にありがとうございました。また、いつかお会いできる日を楽しみしています。

See you again！

秋田県がん予防授業

25日は、秋田県が事業として展開している「秋田県がん予防授業」という特別授業を、本校３年生を対象に行っていただきました。

人が亡くなる原因の一つに「がんの発症」があります。我が秋田県は、そのがんによる死亡率が、全国ワースト１いう大変残念な記録を何年も続けています。この授業は、なぜ、秋田県はがんによる死亡率が高いのかを説明いただくとともに、どうしたら、その死亡率を抑えられるか等について考えていく時間で、生きることについて考える時間になりました。

当日の講師の先生は、大曲厚生医療センター呼吸器外科診療部長の中川拓先生と、「きぼうの虹」会員の工藤恵子先生でした。お二人の先生から、専門的なお話とともに、私たちが日常から心がけるべきことなどについてお話いただきました。お話の中には、先週亡くなった登山家の田部井さんと３か月ほど前に秋田駒ヶ岳に登山した写真が紹介されました。授業の後半ではグループワーキングがあり、中川先生への質問も多く活発な授業となりました。お二人の先生から生徒の積極性を褒めていただきました。さすが３年生です。

ところで、人が発症するがんはいろいろあるようですが、大腸がんの研究・治療において、世界的権威となっているお医者さんで、我が西仙北地域刈和野出身の先生がいらっしゃいます。そうです。工藤進英先生です。先生は、陥凹（かんおう）型大腸がんを世界で初めて発見した先生です。

生徒の皆さんの中には、将来、医学の道に進む人もいるかもしれません。また、別の道に進む人でも、健康ということは、将来、一番の財産になることです。自分はもちろんですが、家族や大切な人、みんなにがんの予防等について、広められるよう、今回学んだことを十分に生かしてほしいと思います。

2年生宿泊体験学習

27日28日に１泊２日の日程で、2年生が、宿泊体験学習を行いました。

上級学校の見学を通して、自分の将来について考え、今後の進路選択の意識を高めること、３年生の時の修学旅行を想定して、自分たちで考え、協力して行動することを通して、学年の絆を深めるとともに判断力や実践力を養うこと、社会生活に必要なマナーやルールを身に付けることなどを主なねらいに実施ました。

１日目は、学年で秋田県立大学や日本赤十字秋田看護大学、秋田公立美術大学、秋田コアビジネスカレッジ、秋田リハビリテーション学院を見学し、ホテルでは秋田県庁の出前講座「秋田の人口と地域創生について」というテーマの講座を受講しました。

２日目は、班別研修として、秋田市内や横手市、由利本荘市、仙北市などで、それぞれの研修テーマに基づいて、グループ研修をしました。交通手段や見学地、その料金等を含めた計画通りに進められたのか、また、予定外の出来事に対応できたのか、この経験をこれからの生活に生かしてほしいと思います。